

レクチャー型ワークショップ
「市民会館リノベーションラボ」 開催概要

1 開催日時

第1回 令和2年8月30日（日） 午後1時30分～午後3時40分
第2回 令和2年9月13日（日） 午後1時30分～午後3時50分

2 申込者数及び出席者数

(1) 申込者数

31人

(2) 出席者数

第1回 28人、第2回 21人

3 概要

設計者から市民会館リノベーション基本設計の内容について説明を行い、参加者による質疑や意見交換を実施した。

第1回目テーマ「大ホール」

第2回目テーマ「多目的ホール」「市民創造回廊」

4 市民会館リノベーションラボで出された主な意見等（概要）

(1) 大ホール関係

○大ホールの席数が約800席だが、音楽ホールをメインに考えれば、もう少し少ない席数で席をゆったりさせるとか、親子席も階段通路だと大変なので横にも設けるとか、他とはちょっと違った施設にしても良いのでは。

→ホールの利用実績から800人を超える収容イベントもあり、500人以上のイベントは年間30回くらいある。コンサートの場合、800～1,000席でチケット販売ができないとイベントの利用も少なくなり、そういった利用も含めたホールとして活用していきたいと考えている。

1,000席を満席にするというのは大変といったご意見や、以前に新しい市民会館を計画した際に800席としていたこともあり、総合的に検討して800席とした。豊田文化センターは客席数が約500席で、市民会館に多目的に使える小ホールが欲しいということもあり、会議室棟に多目的ホールを計画した。親子室の位置も設計者の提案も踏まえながら現在の位置にした。(市)

(2) 楽屋関係

○多目的ホール棟の会議室などを大ホールの楽屋として利用する場合、来場者と動

線が交差するのが、公演中はあまり人目につきたくない。

- 大ホールを使用してたくさんの団体が出演するイベントの場合、一時的に南側のエントランスを通行止めにし、来場者の動線を変えることで、多目的ホール棟を楽屋エリアとして使用することができると考えている。大ホール楽屋の上階にリハーサル室を設けられないか検討したが、予算的に難しい。(市)
- 南側入り口の動線を建築的に仕切るのは難しいが、大ホール使用時に多目的ホール棟を一体として利用できるようなパーテーションのようなものも検討したい。(設計者)

○リノベーション案は既存の建物を最大限活用した素晴らしい案だと思っている。多目的ホールとの一体利用のために南側のメインエントランスを使わない場合には、北側のサブエントランスも正面性を持たせたものにしてほしい。

- 南側のエントランスを通行止めにするのは、出演団体が多いイベントの時に多目的ホール棟を大ホールの楽屋として使う場合のみを想定している。(市・設計者)

○大ホール楽屋の部屋数や部屋の大きさは適当か。女性が圧倒的に多いので、柔軟に使えた方がいい。壁で仕切るより、可動間仕切り壁の方がいいと思う。

- 大きな合唱イベントの場合、女性は化粧前が多い楽屋を利用し、男性は多目的ホール棟の会議室を楽屋として利用するという考え方もある。(市)

○複数の団体が出演する場合、指揮者などが複数人いる場合があるが、大部屋に一緒の部屋でいいか。

- 多目的ホール棟の会議室を楽屋として使うことで対応できると考えている。すべてをカバーするのは難しいが、使い方次第でいろいろな対応ができると考えている。ソリスト用楽屋も上手に活用していきたい。(市)

○合唱団体が利用する際、最大で考えた時に楽屋側のトイレの数が足りないのではないか。

- 楽屋ラウンジ内にトイレ2室を計画しているが、楽屋ラウンジを取りやめることで、男女別とし、女性は3室を確保することができる。多目的ホール棟のトイレも活用することで、ある程度は賄うことができるのではないかと考えている。(設計者)

(3) リハーサル室関係

○リハーサル室が2階であるため、公演直前にリハーサル室を利用する場合、遠くて不便である。

○お年寄りの利用者も多いので、リハーサル室は1階にした方がいいと思う。

- リハーサル室を2階にしているのは、遮音性能を確保するため、天井の高さが必要となるためである。1階にリハーサル室を設置すると、天井の高さが

低くなるが、1階への移動も検討したい。(設計者)

(4) エレベーター

- お年寄りの利用者も多いので、エレベーターの位置も見直した方がいいと思う。
 - エレベーターの位置は、基本設計案では東側風除室の隣に考えていたが、入り口からの距離や視認性を考慮し、ロビー付近に移動することも検討している。(設計者)
- エレベーターの大きさはどうか。ストレッチャーは入るか。
 - 車いすが入れるスペースを想定しており、ストレッチャー対応ではない。メインの階段は回り階段ではないので、人力でもおろしやすい。(設計者)
 - ストレッチャー対応も検討したが、2階建てであり人力で十分可能であると消防署にも確認している。(市)

(5) 大ホールトイレ関係

- 大ホールの多目的トイレは客席から少し遠いのではないか。
 - 問題ない距離だと考えている。(設計者)
- トイレの位置は、ホワイエでなくてもいいのではないか。
 - 建築上の条件などもあり、現在の場所以外となると難しい。(設計者)

(6) 舞台照明・舞台音響

- 大ホールの照明はどのような形か。照明室があるのか。
 - ピンスポット室を設け、天井の照明も新調する。前舞台が広がるため、バトンと照明を吊れるようにする。フロントサイドの照明もステージの幅がカバーできる照明の数を確保する。天井反射板には埋め込みのダウンライトを設けるので、ステージ上は明るくなる。
 - LEDの舞台照明も用意するが、演色性に配慮し、スポットライトはハロゲン系のものを使用する。ただし、将来的にLEDが発達した際に対応できるようにシステムを構築する。多目的ホールも舞台照明を設置する。(設計者)
- 舞台音響はどのようになるのか。
 - 現在のホールの舞台音響は正面のスピーカーだけである。観客が違和感を感じないように、適所にスピーカーをばらして配置する。(設計者)
- 他市のホールでは録音してくれるところもあるがどうか。
 - 録音も三点吊りの本格的な設備までは未定だが、マイクを設置し、対応できるように考えている。多目的ホールも録音できるように対応する。また、スマートフォンなどの最新媒体が利用できるようにする。(設計者)
 - 録音の提供は今後検討していきたい。(市)

(7) 多目的ホール

- 多目的ホールが狭いので、移動観覧席をやめるなどして広くできないか。移動観覧席を出した場合、演者と最前列の距離も近すぎると思う。豊田文化センターの移動観覧席は、階段の段差も急になり、お年寄りの方には大変だと思う。現在の41号会議室を活かして屋根だけ高くするとかはできないか。
 - 多目的ホールは、現在の41号会議室の床を抜き、廊下部分と椅子収納部分の面積が減る形となる。幅も音響に配慮した内装とするので、少し狭くなる。移動観覧席の段床の角度は、階高で決まってしまう。移動観覧席は客席としてはキャシャな造りになるため、階段の上り下りで少しガタガタすることはある。屋根を高くするのは難しい。(設計者)
- 自分でピアノ教室をやっている。ピアノの発表会をできる小ホールが中野市にないので、音響のしっかりした客席のある小ホール的なものがとてもほしいと思っている。小さなお子様の発表の場があればいいなと思っている。
 - 音響は設計者の腕の見せ所でもあり、とてもよくなるため期待してほしい。(設計者)
- 収納イスは自動か。手動か。
 - 自動、手動のどちらもある。(設計者)
- 平土間の場合は、どんなイスになるのか。どのように並べるのか。
 - イスはスタッキングチェアが一般的で、施設利用者が並べることになる。他市の場合、床に目印を打っているところもある。平土間の場合は、ある程度きちんとしたステージが必要にはなる。(設計者)
- 平土間で簡単なステージはできないのか。
 - 現在の市民会館は、床下のスペースが少ないため床が上がるものは難しいが、仮設の折りたためるようなものもある。備品として購入することで対応できる。(設計者)
- ダンス教室のレッスンをコミュニティセンターで実施しているが、こちらでも使いたい、鏡がほしいと思っている。
 - 他市では鏡を設置していることもあるが、今回移動観覧席を入れると鏡を設置する場所が無い状況である。(設計者)
- 営利団体には貸し出さない自治体もあるようだがどうか。
 - バレエの団体などもあり、営利団体への貸し出しも検討していきたい。(市)
- 社交ダンス、ジャズダンス、バレエでそれぞれ靴が違うので、貸し出しはなかなか難しいのではないかと。これから床材や使い方も検討した方がいい。社交ダンスで床がポコポコになる。
 - 他市の施設でも社交ダンスでの貸し出しはしていないところもある。バレエ

やダンスは、ダンスシートなどを備品として持つことで対応できる。(設計者)

- 音響を重視するため、音楽団体の利用を中心に考えてもらいたい。
→多目的ホールであり、音楽以外の利用も想定している。(設計者)

(8) 音楽スタジオ

- 音楽スタジオはどんな用途か。
→バンド練習なども想定している。(設計者)

(9) ピアノ

- ホールにはそれなりのピアノが必要。今のうちから発注検討してほしい。
→ピアノの件については、新規のものを検討している。メーカーから納期なども確認している。(市)
→現在のホールのピアノ庫は空調が無い中での管理であるが、リノベーション後はピアノ庫にも空調が入るためしっかりとした管理ができる。ピアノの選定に立ち会った際は、メーカーを決定した後、プロのピアニストが6台を引き比べて消去法で選定した。選んでいただいたピアニストにコンサートもして頂くのがいいのではないかと考えている。(設計者)
- コンクールでどんなピアノが選ばれているか確認して決めてほしい。湿気を嫌うものや日本の気候に合ったものなどいろいろある。
→現状のピアノも引き続き使用することを前提に選定したい。(市)

(10) 使用料

- 市民会館は使ってもらってなんぼだと思う。現在の使用料は高いので、料金体系も含めて皆さんに使ってもらえる工夫をしてほしい。
→検討したい。(市)

(11) その他

- コロナ禍であるので、現在の市民会館の利用料減免などの工夫をしてほしい。市民会館が休館になる前に、練習での利用者を減免するとか、いろいろ検討してほしい。
→検討したい。(市)
- 50年先まで使うことを念頭において、借金はできたとしても、50年先の人が喜ぶような施設になればいいと思う。

5 開催中の様子

